

- 問1 近畿地方の各府県を比較した統計において、人口が多く、小売業の年間販売額が大きい地域ほど、情報通信業などのサービス業が盛んであるという傾向が見られます。この産業が都市部に集中する理由として最も適切な説明を選びなさい。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 建物を造る建設業などの第2次産業と同様に、重い原材料を運ぶための港湾施設や大規模な工場用地が立地の絶対条件となるため。 | 2. 地価の高い都市部を避け、労働力を安く確保できる過疎地域に大規模なサーバーセンターを設置することが産業の主目的であるため。 | 3. 情報の伝達や処理には、顧客となる企業や個人が密集している方が需要が多く、高度な通信網などのインフラも整備しやすいため。 | 4. 木材を生産する林業や、作物を栽培する農業といった第1次産業と同様に、広大な土地と豊かな自然環境を必要とするため。 |
|--|---|--|---|
- 問2 近畿地方などの都市部で特に発展している「情報通信業」は、情報の伝達や処理、ソフトウェアの開発、放送などのサービスを提供する産業です。日本の産業分類において、商業や観光業などとともにこの業種が分類される区分として適切なものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 第1次産業 | 2. 第2次産業 | 3. 第3次産業 | 4. 第4次産業 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問3 江戸時代の大坂は、水運の利点を生かして全国から年貢米や特産物が集まる物流の要所として発展しました。このような経済的役割を象徴する、当時の大坂の呼び名として適切なものを選びなさい。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|----------|-------------|
| 1. 天下の台所 | 2. 八百八町 | 3. 商都の極み | 4. 将軍のおひざもと |
|----------|---------|----------|-------------|
- 問4 近畿地方に属するある県は、京都府、香川県、山口県の4府県で比較した統計において、県内総生産が約21兆円と最も高く、重要文化財の件数も460件を超えています。人口密度が1平方キロメートルあたり約657人であるこの県はどこですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山口県 | 2. 兵庫県 | 3. 香川県 | 4. 京都府 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 神戸市の地形図や土地利用図において、内陸部の開発地域と沿岸部の開発地域には密接な関係が見られます。この開発手法の説明として正しい組み合わせはどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設 / 沿岸部：削った土砂で海をうめ立て | 2. 内陸部：盆地を整備して工業団地を建設 / 沿岸部：リアス海岸を利用して港湾を整備 | 3. 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設 / 沿岸部：堤防を築いて海を干拓 | 4. 内陸部：扇状地を開発して果樹園を造成 / 沿岸部：堤防を築いて海を干拓 |
|--|---|--|--|
- 問6 日本の伝統的工芸品について述べた文章として、京都府の事例について正しく説明しているものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 石川県の能登地方を中心に、堅牢な下地塗りが特徴の輪島塗が制作され、日常的に使われる漆器として普及した。 | 2. 先染めの糸を用いて緻密な模様を織り上げる西陣織や、清水寺周辺で発展した陶磁器である清水焼などが受け継がれている。 | 3. 雪深い地域の気候を活かして麻を用いた小千谷縮が生産され、石川県では金沢市周辺を中心に九谷焼が発展した。 | 4. 伝統的な技術を継承しつつ、現代の生活に合わせて大量生産を可能にした化学繊維の織物が、京都府の指定品目の主流となっている。 |
|--|---|--|---|
- 問7 梅などの農産物加工品において、英語で書かれた観光パンフレットの作成や、インターネットを通じた直接販売が積極的に行われている理由として、背景にある日本の商業・流通の課題をふまえた説明はどれですか。（2025年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 国内の食習慣の変化などにより需要が変化の中で、ICTを活用した効果的な情報発信を行い、国内外の新たな顧客層を獲得して販路拡大を図るため。 | 2. 農産物の加工には高度な公的資格が必要であり、その資格を広く宣伝して信頼を得ることが法律によって義務付けられているから。 | 3. インターネットによる販売価格は、常に卸売価格よりも低く設定しなければならぬという国際的なルールが定められたから。 | 4. 生産者の高齢化により、都市部の卸売市場へ商品を出荷する物流網が完全に途絶えたため、近隣住民のみを顧客とする必要が生じたから。 |
|---|--|---|---|
- 問8 日本の人口移動と地域課題について述べた会話文において、人口が集中している東京、大阪、名古屋などの都市部と、人口減少が著しい地方農村部の対比が議論されています。このように、特定の都市に人口や機能が過度に集中することで発生する課題として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 農村部での耕作放棄地が減少し、食料自給率が向上する | 2. 住宅不足や交通渋滞、ゴミ処理問題などの過密問題が発生する | 3. 地方自治体の税収が増加し、公共交通機関の維持が容易になる | 4. 都市部での地価が急激に下落し、広い住宅の確保が容易になる |
|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
- 問9 兵庫県たつの市における昭和48年から令和2年にかけての地域変化について述べた文として、地形図から読み取れる状況説明として正しいものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大規模な減反政策の影響により、市街地であった場所のほとんどが水田へと作り替えられ、農村景観が復活した。 | 2. 交通網の衰退により、かつて存在した鉄道や新幹線の駅がすべて消滅し、人口が周辺の都市へと流出した。 | 3. 山陽自動車道の龍野西インターチェンジが開通し、住宅地の面積が拡大するとともに、郵便局などの公共施設が設置された。 | 4. 防災上の理由から、地域内の小学校がすべて元の位置から1km以上離れた標高の高い山頂へと移転した。 |
|--|---|---|---|
- 問10 商店などの小売店において、1年間に販売された商品の合計金額を示す経済指標を何といいますか。近畿地方では大阪市などの大都市を抱える大阪府でこの数値が大きく、地域の商業の勢いを示す重要なデータとして活用されています。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-------------|-------------|----------|
| 1. 工業出荷額 | 2. 小売業年間販売額 | 3. 卸売業年間販売額 | 4. 農業産出額 |
|----------|-------------|-------------|----------|
- 問11 大阪府の農業において、米や果実の産出額よりも野菜の産出額が高くなっている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. 気候が冷涼であり、夏場でも新鮮な高原野菜を生産するのに適しているため | 2. 広大な土地を活かした大規模な機械化農業により、野菜の大量生産が可能だから | 3. 大消費地である大阪市などに近く、鮮度が求められる野菜を効率よく出荷できるため | 4. 平地が少なく傾斜地が多いため、稲作よりも野菜の段々畑が適しているため |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
- 問12 近畿地方の産業について述べた次の文章のうち、空欄にあてはまる最も適切な語句を選択肢から選びなさい。「奈良県南部に位置する紀伊山地では、多雨な気候や急峻な地形を活かした林業が古くから盛んである。この地域で産出される木材は、建築資材などに用いられる高品質な（ ）として全国的に知られている。」（2021年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 秋田すぎ | 2. 木曽ひのき | 3. 屋久すぎ | 4. 吉野すぎ |
|---------|----------|---------|---------|
- 問13 近畿地方のある県に関する統計において、人口密度が369.6人、昼夜間人口比率が90.0、人口増減率がマイナス0.53%という数値が示されています。これらの特徴に合致する県名として正しいものを次のうちから選んでください。（2021年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 奈良県 | 3. 鳥取県 | 4. 秋田県 |
|--------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 情報の伝達や処理には、顧客となる企業や個人が密集している方が需要が多く、高度な通信網などのインフラも整備しやすいため。	情報通信業は、情報を利用する企業や消費者が多いほどビジネスチャンスが広がります。近畿地方の統計で人口や小売業販売額が多い大阪府などの都市部では、企業の本社や商業施設が集中しており、情報の処理や通信サービスに対する膨大な需要が存在します。そのため、効率的なサービス提供が可能な都市部に産業が集中し、地域の経済活動を支える構造になっています。
問2	答え 3 第3次産業	日本の産業は、自然界から資源を採取する農業や林業などの第1次産業、それらを加工する製造業や建設業などの第2次産業、そして形のないサービスや情報の提供を行う第3次産業に大別されます。情報通信業は、情報という無形の付加価値を扱うため、サービス業や小売業と同じ第3次産業の主要な構成要素となっています。
問3	答え 1 天下の台所	江戸時代、大坂には全国の諸藩が年貢米や特産物を運び込み、それらを販売して貨幣に換えるための拠点である蔵屋敷が数多く置かれました。全国のお物資が一度大坂に集まってから各地へ流通するという経済の仕組みからこのように呼ばれました。一方、「將軍のおひざもと」は政治の中心地であった江戸を指す言葉です。
問4	答え 2 兵庫県	兵庫県は、阪神工業地帯を擁するため、近畿地方の中でも県内総生産が非常に高いという特徴があります。また、歴史的な背景から重要文化財の件数も多く、経済と文化の両面で重要な位置を占めています。提示された人口密度や総生産の規模は、観光都市としての性格が強い京都府や、地方都市である山口県・香川県と比較して、兵庫県を特定する有力な指標となります。
問5	答え 1 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設／沿岸部：削った土砂で海をうめ立て	神戸市の都市開発は「山、海へ行く」とも称され、山を削った土を海へ運ぶことで、内陸の住宅不足の解消と沿岸部の用地不足の解消を同時に行いました。内陸部では「西神ニュータウン」などが建設され、沿岸部ではその土砂で埋め立てが行われました。干拓は土砂を使わずに水を排出して土地を作る方法なので、このケースには当てはまりません。
問6	答え 2 先染めの糸を用いて緻密な模様を織り上げる西陣織や、清水寺周辺で発展した陶磁器である清水焼などが受け継がれている。	京都府には、平安京以来の長い歴史の中で培われた高度な技術を持つ伝統的工芸品が多く存在します。西陣織はあらかじめ糸を染めてから織る「先染め」という手法を用いた高級な紋織物です。また、清水焼は清水寺の参道付近に多くの窯元があったことからその名がついた陶磁器です。選択肢にある小千谷縮は新潟県、九谷焼や輪島塗は石川県の伝統的工芸品です。
問7	答え 1 国内の食習慣の変化などにより需要が変化する中で、ICTを活用した効果的な情報発信を行い、国内外の新たな顧客層を獲得して販路拡大を図るため。	日本の農業や商業においては、国内消費の減少や多様化という課題に直面しています。これに対応するため、単なる原材料の出荷にとどまらず、付加価値を高めた加工品を開発し、多言語での宣伝やSNS、ネットショップなどを活用して直接消費者に魅力を伝える情報発信が、持続可能な産業形成のために不可欠となっています。
問8	答え 2 住宅不足や交通渋滞、ゴミ処理問題などの過密問題が発生する	高度経済成長期以降、三大都市圏（東京・大阪・名古屋）には多くの人口が流入しました。これにより、都市部では過密による住宅難や通勤ラッシュ、大気汚染、ゴミ問題などの「過密問題」が発生した一方で、地方では若者の流出により「過疎問題」や「限界集落」の発生が深刻な課題となっています。
問9	答え 3 山陽自動車道の龍野西インターチェンジが開通し、住宅地の面積が拡大するとともに、郵便局などの公共施設が設置された。	たつの市の約50年間の変遷を比較すると、山陽自動車道の整備や鉄道網の維持・充実に背景に、開発が進んだことがわかります。特に地形図の変化では、北西部のインターチェンジ設置や、南部の鉄道周辺、およびその間を結ぶエリアで住宅地が広がっている様子が顕著です。また、人口の増加や生活範囲の拡大に伴い、郵便局などの生活を支える公共施設も整備されています。なお、小学校の移転距離については地形図の縮尺（1:25,000）に基づき正確に測る必要がありますが、一般的に学校が山頂へ集団移転するといった極端な変化は、この地域の開発傾向とは一致しません。
問10	答え 2 小売業年間販売額	小売業年間販売額は、最終消費者に商品を販売する商店の活動実績を金額で示したものです。大阪府のように商業施設が集中し、人口密度が高い地域では、この数値が他の府県に比べて突出して高くなる傾向があります。これに対し、製造業の規模を示すのは工業出荷額、農業の規模を示すのは農業産出額です。
問11	答え 3 大消費地である大阪市などに近く、鮮度が求められる野菜を効率よく出荷できるため	大阪府のような都市部では、農地面積が限られている一方で、背後に巨大な消費市場（大阪市など）が存在します。そのため、輸送距離が短い利点を最大限に活かせる、鮮度劣化の早い野菜を中心とした生産体制がとられています。これが都市近郊農業の背景にある合理的な理由です。
問12	答え 4 吉野すぎ	奈良県吉野地方は、日本を代表する造林地の一つです。紀伊山地の豊かな自然環境のもとで、密植（木を密集させて植えること）などの伝統的な技術により、年輪が細かく強度の高いスギが生産されています。長野県の本曽ひのきや、秋田県の秋田すぎと並んで日本三大美林の一つに数えられることもあります。
問13	答え 2 奈良県	昼夜間人口比率が90.0という数値は、全国的に見ても非常に低い水準であり、都市部へ人口が流出するベッドタウン特有の数値です。選択肢のうち、広大な面積を持ち人口密度が極めて低い北海道や、過疎化の課題を抱えるものの都市部への通勤圏とは言い難い鳥取県・秋田県と比較して、大阪の通勤圏である奈良県がこの統計に最もよく当てはまります。